2023 年度

学校関係者評価　報告書

【評価対象期間】
自:2022 年４月　１日
至:2023 年３月 31 日

学校法人大原学園
大原医療秘書福祉専門学校大宮校
大原こども専門学校
学校関係者評価委員会

１．学校関係者評価委員会の実施状況

(1) 実施日時・場所

日時：2023 年８月３日(水)　１５：００～１６：００

場所：大原医療秘書福祉専門学校大宮校５Ａ教室

(2) 学校関係者評価委員

① 学外委員

氏　名	団体企業名	役職等
金子　史人	社会福祉法人明日栄会　特別養護老人ﾎｰﾑ　きりしき	施設長
榊原　智	医療法人若葉会　さいたま記念病院	事務部次長
大塚　弘美	社会福祉法人なないろ会　いちご桜保育園	園長
利根川　幸子	保育園アミ・クレイシュ	園長
清水　俊男	さいたま市大宮区宮町一丁目自治会	自治会長
高橋　弘幸	卒業生	－
樋口　正和	卒業生	－
加藤　碧	卒業生	－

② 学内委員(事務局)

氏　名	団体企業名	役職等
杉﨑　和明	学校法人大原学園	校長
若井　浩美	学校法人大原学園	部長代理
苅屋　勝美	教務部医療課	課長
髙橋　誠	教務部保育・福祉課	課長補佐
塚本　智久	教務部医療課	課長補佐

③ 配布資料

・2022 年度　自己点検・評価報告書

・学校関係者評価委員会　会議資料

(3) 議題内容

2022 年度の自己点検・評価報告書を基準に、特に提言頂きたい重点項目を「基準 4：学修成果」「基準 5：学生支援」「基準 6：教育環境」「基準 10：社会貢献・地域貢献」とし、学校関係者評価委員へ伝達した上で開催された。

２．学校関係者評価委員会からの評価結果報告

(1) 基準１　教育理念・目標・育成人材像

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
理念・目的・育成人材像	1-1-1 理念･目的･育成人材像は定められているか	定めている
	1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	80%
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか	80%
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	70%

② 委員からの提言

□　委員からの意見なし。

(2) 基準２　学校運営

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
運営方針	2-2-1 理念に沿った経営方針を定めているか	定めている
事業計画	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	定めている
運営組織	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	90%
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	90%
人事･給与制度	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	80%
意思決定システム	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	90%
情報システム	2-7-1 情報システム化に取り組み、業務効率化を図っているか	70%

② 委員からの提言

□　委員からの意見なし。

(3) 基準３　教育活動

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
目標の設定	3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	定めている
	3-8-2　学科毎の修業年限に応じた教育達成レベルを明確にしているか	明確にしている
教育方法・評価等	3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	80%
	3-9-2　教育課程について、外部の意見を反映しているか	70%
	3-9-3　キャリア教育を実施しているか	80%
	3-9-4　授業評価を実施しているか	70%
成績評価・単位認定等	3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	80%
	3-10-2　作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	80%
資格・免許の取得の指導体制	3-11-1　目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	80%
	3-11-2　資格・免許取得の指導体制はあるか	90%
教員・教員組織	3-12-1　資格・要件を備えた教員を確保しているか	90%
	3-12-2　教員の資質向上への取組みを行っているか	80%
	3-12-3　教員の組織体制を整備しているか	80%

② 委員からの提言

□　委員からの意見なし。

(4) 基準４　学修成果

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
就職率	4-13-1　就職率の向上が図られているか	90%
資格・免許の取得率	4-14-1　資格・免許取得率の向上が図られているか	80%
卒業生の社会的評価	4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか	70%

② 委員からの提言

□　コロナの影響で現在も説明会や施設見学など、オンラインで実施している状況がある。面接は対面で行うことが多いが、学校でもオンラインを使用する際の注意事項や練習などは引き続き行ってほしい。なお、学生だけが使用できる就職サポートのアプリがあり、効率的に就職活動、管理ができることは非常に評価できる。

(5) 基準５　学生支援

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
就職等進路	5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	80%
中途退学への対応	5-17-1　退学率の低減が図られているか	60%
学生相談	5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか	70%
	5-18-2　留学生に対する相談体制を整備しているか	70%
学生生活	5-19-1　学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	70%
	5-19-2　学生の健康管理を行う体制を整備しているか	90%
	5-19-3　学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	50%
	5-19-4　課外活動に対する支援体制を整備しているか	60%
保護者との連携	5-20-1　保護者との連携体制を構築しているか	70%
卒業生・社会人	5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか	70%
	5-21-2　産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	60%
	5-21-3　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	70%

② 委員からの提言

□　現在、医療機関や施設現場でも退職代行などを使用して退職される若い職員が出てきた。日頃のコミュニケーションがいかに大事かを実感している。大原は学生時代に担任と学生が非常に密なコミュニケーションを取られており、定期的な面談や保護者対応をされていることも評価できる。引き続き、退学者抑制の対策を強化してほしい。
□　卒業生サイトを運用することで、希薄になりがちな卒業生同士の繋がりが促進されるため、今後も整備開発を行い、サイトの発展をさせて欲しい。

(6) 基準６　教育環境

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
施設・設備等	6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	80%
学外実習、インターンシップ等	6-23-1　学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	90%
防災・安全管理	6-24-1　防災に対する組織体制を整備し適切に運用しているか	70%
	6-24-2　学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	80%

② 委員からの提言

□ 実習やインターンシップに参加する前に、学生へ実習前研修などでしっかりと時間を確保し、対応しているので、大原の実習生はとても積極的に動け、マナーもできている。医療・介護・保育の現場では、実習やインターンシップが不可欠な系統なので、引き続き、事前学習は徹底してほしい。

(7) 基準７　学生の募集と受入れ

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
学生募集活動	7-25-1　高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	80%
	7-25-2　学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	80%
入学選考	7-26-1　入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	80%
	7-26-2　入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	50%
学納金	7-27-1　経費内容に対応し、学納金を算定しているか	算定している
	7-27-2　入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	行っている

② 委員からの提言

□ 委員からの意見なし。

(8) 基準８　財務

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
財務基盤	8-28-1　学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	安定している
	8-28-2　学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	行っている
予算・収支計画	8-29-1　教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	策定している
	8-29-2　予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	行っている
監査	8-30-1　私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	実施している
財務情報の公開	8-31-1　私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	70%

② 委員からの提言

□　委員からの意見なし。

(9) 基準９　法令等の遵守

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
関係法令、設置基準等の遵守	9-32-1　法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	90%
個人情報保護	9-33-1　学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	80%
学校評価	9-34-1　自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	行っている
	9-34-2　自己評価結果を公表しているか	公表している
	9-34-3　学校関係者評価の実施体制を整備し評価をしているか	行っている
	9-34-4　学校関係者評価結果を公表しているか	公表している
教育情報の公開	9-35-1　教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	70%

② 委員からの提言

□　委員からの意見なし。

(10) 基準１０　社会貢献・地域貢献

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
社会貢献・地域貢献	10-36-1　学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	80%
	10-36-2　国際交流に取組んでいるか	50%
ボランティア活動	10-37-1　学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	50%

② 委員からの提言

□ 今年度、久しぶりに町内会のお祭りが復活し、多くの大原生が参加してくれた。挨拶などのマナーもしっかりしており、町内会としても非常に活気がでて感謝している。今後も積極的に町内会の祭りやボランティアに参加するよう、指導してほしい。

(11) 総評

教職員全員が一丸となって学校運営・教育活動に取り組んでいる。多くの卒業生が実社会で活躍していることは、社会的貢献の意味で非常に大きな役割を果たしている。修業年限の中で、社会で即戦力となる知識技能や社会性を向上させる教育を提供していると思われる。また、学生生活においては様々な場面で学生とコミュニケーションを図り、学生の長所や特性を踏まえた上での指導が素晴らしい教育成果を上げている原点となっていることが推察される。学習相談のみならず、日々の生活における悩みなども教員・保護者と共有解決し、教員と学生がより密接にかかわることにより学生生活の満足度を高める事に期待をしている。今後はコロナ禍の副産物として導入されたオンラインシステムを効果的に活用しつつも、対面式教育を軸として、テーマを持って社会のニーズに対応した教育を継続して行うことが重要と考えられるため、重点課題の改善に向けた取り組みを反映させて欲しい。
学校関係者一同、今後も客観的な視点から様々な提言を投げかけることにより、大原医療秘書福祉専門学校大宮校並びに大原こども専門学校が、社会の信頼を益々得られるようにサポートして行きたい。

以上